寝屋川民報
議会版
発行
日本共産党
寝屋川市会議員団
072-824-1181
(内線2399)
FAX：824-7760
No.2809

石本えりな
太秦元町9－2－203
090-8937-1934
太田とおる
高柳2－49－2
080-3818-9722
中林かずえ
宝町4－33
090-3944-8385
西田まさみ
石津中町30－3
090-9713-3588
前川なお
萱島東2－16－11
090-1025-7503

廃プラを含むごみ処理の見直し
可燃ごみ量の減量が共通の課題

中林議員が一般質問

ごみ減量出前講座など積極的な開催を

6月23日、中林議員は、ごみ処理の見直しとごみ減量について、中学校給食、引きこもり支援などについて、一般質問を行いました。

中林議員は、廃プラを含むごみ処理の見直しについて、4市施設組合の構成市（枚方市、交野市、四條畷市）との協議の進捗と今後の課題について質問しました。

市は「構成3市に、本市の意向を個別に説明し、ごみ処理のあり方について調査・研究するための会合を、昨年2回、今年度1回開催し、今後も継続的に協議を行うことになっている。課題はごみ減量であり、共通の認識」との答弁でした。

量販店などの回収市民が活用できるように

中林議員は、全国的に広がっている雑紙（ザツガミ）の分別について紹介しました。（右下写真）

以下は質問です。

（1）重量で可燃ごみの4割近くをしめる生ゴミの減量について。

（2）ごみ回収の実施団体、回収日、回収場所などを紹介して、集団回収をしていない地域の住民も利用できるような情報発信としてごみアプリの立ち上げの検討について。

（3）「ごみ減量出前講座」の開催や「ごみマイスター講習会」への参加について、担当課から、自治会や市内の団体・事業所にお願いにいくなど積極的に推進すること。

（4）ペットボトル、白色トレーなどは、スーパーなどの拡大生産者責任での回収ルートにのせることの検討などを求めました。

市の答弁は、「ごみアプリの検討を行う」「出前講座、ごみマイスターについては、より多くの市民が参加できる夕方、土・日曜も実施したい」「事業者によるペットボトルなどの回収については、量販店などの取り組み状況を調査し、市民が活用していただくよう啓発していく」でした。

中林議員は、「私たちもごみ減量にがんばりたい」と述べました。

中学校給食は温かいものに

中学校給食については、温かい給食になるように求めたのに対して、「平成29年度末に調理業務委託契約が満了するに当たり、今年度、中学校給食あり方検討会を設置して方向性を示す」と答弁しました。

中林議員は、学校給食法に「給食は教育の一環である」ことが定められており「義務教育は無償とする」との精神に照らして、給食を無料にしている自治体があることを紹介、本市の第3子の無料化について聞きました。

市は「小中学校の給食費の助成に向けた検討を行っている」と答弁しました。

市民から寄せられた意見です

私の住んでいるあさひ丘では、自治会独自で行っている廃品回収にペットボトルを出しております。

自治会が業者に、集めたペットボトルを売ります。廃プラごみの減量になるし、少しですが自治会のお金にもなり、一石二鳥です。

私はいろいろな方法で「ごみ減量」を実践しておりますが、先日おむつをする孫が３人集まった時の、おむつの量と重さにびっくりしています。何かいい方法はないでしょうか。

今後もごみ減量に努力をしたいと思います。

雑紙とは

段ボール、新聞紙、雑誌、パック類以外の全ての紙類

寝屋川市役所内日本共産党控室　〒572-8555 寝屋川市本町1番1号　寝屋川市政について、ご意見ご要望をお寄せ下さい。Ｅメール n-jcp@jcp-neyagawa.jp

引きこもり支援について
中林議員が質問

段階に応じた支援で引きこもりから抜け出せる

中林議員は、引きこもり支援について質問しました。

厚生労働省の「引引きこもりの評価・支援に関するガイドライン」では、、引きこもりの定義は６か月以上自宅に引きこもって社会参加ができない状態が続くこと、引きこもりの原因が「精神障害」にはないという状態を「引きこもり」と呼んでいます。

最近の調査では、引きこもり状態が長引いた場合、高いリスクで親がうつ病を発症する状態にあることがわかっています。東京都では、国の補助制度を活用した「東京都引きこもりサポートネット」（東京都の引きこもり相談窓口）による訪問支援が、２０１３年からスタートしています。

保健所などと連携して支援を

引きこもりは、さまざまな要因が背景になって生じる状態です。

働きたいと思っている人から、病気・障害を抱えている人まで、さまざまで、支援の道筋も一人一人違うので状況に合わせて必要な支援内容を検討し関係機関を紹介しています。

秋田県藤里町では段階に応じた支援で、多くの人が引きこもりから脱出した事例があります。

必要な支援があれば引きこもりから、抜け出せます。

中林議員は、本市における引きこもり状態の人数や必要な支援について質問しました。

市は、本市の引きこもり人数については、内閣府の推定方法でみれば、３５０人～１１００人ほどであること、保健所などと連携して、支援策を検討していくとの答弁でした。

法律相談

日時　７月２１日（木）
18時30分～
場所　市民会館
（２Ｆ第３・４会議室）

労働安全衛生委員会
府内33中、14市が設置

中林議員は、教育委員会の電気が夜遅くまでついていることについて「子どもたちや市民のために遅くまで頑張ってくれているのはありがたいが、体は大丈夫なのか」「職員が足りないのではないか」などの声が寄せられていることを紹介しました。

また、教育現場の多忙化で教職員の健康が心配されていること、基本的には教職員の人数を増やすことが肝心であるが、府内で33市中、14市が実施（２０１４年４月現在）している「労働安全衛生委員会」の設置の検討をもとめました。

教育委員会は、調査研究すると答弁しました。

「中核市調査課」新設

６月議会の冒頭で北川市長が中核市移行の検討を表明しました。

７月１日付けで、中核市移行準備に関わって、経営企画部に「中核市調査課」が新設され、兼務で課長含めて５人が配置されました。

また、市議会においては「中核市移行調査特別委員会」が設置され、党議員団から、太田・中林議員が委員に選任されました。

会議は公開で行われます。

公園墓地の募集について

募集期間　７月５日(火)～８月５日(金)
募集区画　８２区画
　４平方メートル　２８（内１８未使用）
　２平方メートル　５４（内３５未使用）
抽選日　８月２７日（土）
　中央公民館講堂

議員日誌

中林かずえ

６月30日、豊里町公民館をお借りして、「木屋小校区地域懇談会」を開催しました。６月市議会の報告と地域から提出されている要望などについて進捗状況を報告しました。

日新太間線の歩道の上のミラーのついた水銀灯が歩道を狭くしていることから、移設することがほぼまとまりました。

また、木屋小学校の周辺に郵便ポストを設置することについても、８月頃の予定で進んでいることを報告しました。

２件とも、豊里町自治会から、寝屋川市や郵便局に要望書が提出されていたものです。

参加者から「郵便ポストが遠くて困っていた。助かります。」の声が出されました。

また、ちょうど、国民健康保険料の納付通知書が届いていましたので、皆さんの要望に応えて「減免制度」の説明を行いました。

「市民の役に立つ所」と書いて「市役所」です。私も市民の役に立つ議員として頑張りたいです。